

## 株式会社UACJとサステナビリティパートナー契約を締結 ～アルミニウムリサイクルスキーム構築に向け連携～

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)を運営するホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤毅、以下「ホンダモビリティランド」と)、株式会社UACJ(本社：東京都千代田区、代表取締役：田中信二、以下「UACJ」)は、4月1日に「鈴鹿サーキットサステナビリティパートナー契約」を締結します(以下「本パートナーシップ」)。

本パートナーシップは、環境負荷低減に関する取り組みを進めるとともに、ホンダモビリティランドが運営する施設にて、社会課題解決に向けた実証フィールドとして具体的な取り組みを実施していきます。2025年4月4日(金)～6日(日)の3日間、鈴鹿サーキットで開催されるF1日本グランプリでは、UACJがアルミカップを提供し、水平リサイクルによる飲料容器サプライチェーン全体のCO2排出量削減を目指します。今後、鈴鹿サーキットとモビリティリゾートもてぎ(栃木県芳賀郡)において、アルミ缶リサイクルスキームの構築に向け、2社で連携していきます。

UACJは、環境に関するマテリアリティの一つに「アルミニウムの循環型社会(サーキュラーエコノミー)の牽引」を掲げ、サプライチェーン全体で協力し、環境負荷低減に向けた取り組みを進めています。また、Scope1・2において、2050年のカーボンニュートラル実現に挑戦することと、2030年度までにCO2排出量を30%(2019年度比)削減することを目標として掲げています。ホンダモビリティランドは、中核事業であるモータースポーツイベント開催にかかわる温室効果ガスの排出削減に取り組み、2030年にカーボンニュートラルを目指しています。

UACJとホンダモビリティランドは、今後も持続可能で豊かな社会の実現を目指し、アルミニウムの循環型社会構築に向けて連携してまいります。



X



### ■ UACJについて

株式会社UACJ(ユーエーシージェー)は、グローバルに事業を展開するアルミニウム総合メーカーです。「アルミでかなえる、軽やかな世界」をスローガンに掲げ、素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。

UACJは、アルミ圧延を開始してから125年以上の歴史を持ち、グループの総合力を発揮し、板、自動車部品、押出・加工品、航空宇宙・防衛材、箔の5つの事業を展開。飲料缶、自動車、IT機器、空調、航空宇宙産業などの幅広い分野にアルミ素材を供給し、人びとの暮らしや産業を支えています。

2024年3月期の連結売上高は8,928億円、グループ従業員は約10,500人です。